



メタボ予防の大作戦！ 五日市小でエアロビ教室

五日市小学校(星貴子校長)は10月22日、全校児童43人と父母・養護教諭ら12人が参加し「いき²五小っ子大作戦」の運動実習を行いました。

この作戦は、県内で葛巻町の小学生の肥満率が高いことから食生活や運動習慣を見直そうというもの。今年度モデル校となった五日市小学校は、食事など生活面のチェックシートや万歩計による歩数調査、運動実習や料理講習など4つの作戦を実行。この日の運動実習(エアロビクス)は、PTA厚生部がメニューを選択するなど家庭を巻き込んでの取り組みになりました。

同部長の村田幸恵さんは「子どもたちと一緒に健康づくりを進められ楽しい」と、大作戦の手応えに自信をのぞかせました。

スポーツインストラクターの山本則子先生と一緒に、エアロビクスに挑戦する五小っ子と父母ら



俺たちまだまだやれる 60歳の熱いパワー全開

平成21年度60歳のつどいは10月18日、44人が参加して遠別岳、グリーンテージを会場に開催されました。

今年度の対象者は昭和23年度生まれの町内に住む153人。第一部は遠別岳・安家森登山、第二部は記念植樹と交流パーティーの二部構成。一部の登山には28人が参加し、実行委員の高家卓範さん(江刈川)が重さ約15kgの記念の石碑を背負い登頂し、頂上の祠の脇に納めました。「遠別岳を訪れる人たちに、60歳のつどいを知ってもらえれば」と笑顔の高家さん。二部では、グリーンテージ脇に3本のカツラの木を植樹した後、待ちに待ったパーティーに突入。「まだまだやれる!あんまり気張らないでいきましょう」の服部晴男(城内小路)実行委員長のあいさつで口火を切り、夜が更けるまで歌やダンスに会場は熱く盛り上がりました。

まだまだやれる60歳の仲間たち。円内は遠別岳山頂に設置された登頂記念の石碑



第35回くずまき町民まつり

第35回くずまき町民まつりは10月24日と25日の二日間、町社会体育館と象鼻会館、JAモウモウ館で開催されました。

秋晴れの好天にも恵まれ、約6,700人の来場者はステージイベントや体験コーナー、タイムサービスなど多彩なイベントに彩られた町民まつりを楽しみました。



①恒例のもちまきに群がる来場者 ②商工会工業部会による包丁研ぎサービス ③盛岡大学YOSAKOIサークルによる若さあふれるYOSAKOIソーラン ④保健コーナーの健康相談や骨そしょう症予防検診には長蛇の列⑤そば打ち名人の指導の下、そば打ち体験 ⑥豊富な体験メニューを楽しむ参加者

エコを学んでびっくり 江刈小5・6年生が校外学習

江刈小学校(湯原尚子校長)の5・6年生10人は10月13日、森と風のがっこう(旧上外川分校)で森林を生かした暮らしを学びました。



この学習は、学校の環境教育支援プロジェクト全6回の4回目。エコクイズや薪拾い、石窯ピザ作りなどを体験。角地真枝さん(5年)は「自分たちで作って焼いたピザづくりが楽しかった。ウンチが燃料や肥料に変わるのに驚いた」と声を弾ませました。

1年間の感謝を込めて 葛巻高校野球部が道路清掃

葛巻高校硬式野球部(板屋信良監督)の1・2年生11人は10月11日と12日の二日間、国道340号線沿いの道路清掃を行いました。



町への恩返しとトレーニングを併せたボランティアウォークは今年で4回目。岩泉町境から高校までと九戸村境から高校までの合わせて約30kmを歩いて清掃し、軽トラック2台分のゴミを収集。外山拓海主将(2年)は「地域への感謝とメンタル面の向上が目的。今後も続けたい」と、元気に高校までの道のりを進みました。

西部ユニホック倶楽部 女子チームに続き全国へ

ユニホック倶楽部西部ツッカーズは10月13日、日本ユニホック選手権全国大会の出場報告に町長室を訪れました。



同倶楽部は、9月の東北ブロックで準優勝に輝き全国大会出場を決めたもの。2007年には女子チームが全国大会ベスト8。今年は男子チームが上位の成績をと意気込みます。鈴木重男町長は「ユニホックを通じ地域のきずなや団結を強め、葛巻の名を全国に轟かせてほしい」と激励しました。

地域へプロの技で恩返し 町内6業者が奉仕作業

葛巻町安全協議会(遠藤清美会長)は10月15日、役場敷地内の奉仕作業を行いました。



同協議会は、町内の建設、水道業者6社が地域貢献や奉仕作業を目的に昨年結成。今年度は、役場通用口の舗装修理と周囲の道路の清掃作業を行いました。遠藤会長は「毎年、自分たちの出来ることで地域に恩返しをしたい」と抱負を語りました。